

# 2022 年秋学期語学留学/グリフィス大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで紹介されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

## 1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。
日本の授業形態と違いディスカッションが非常に多く様々な意見を知ることが出来ました。
パソコン上で OneNote という教材を使用して授業を進めていました。先生によって進め方は違いましたが、その教材にしっかり沿って授業する先生やアクティビティをたくさん取り入れる先生などさまざまでした。
基本は対面での授業だったが、一部オンラインの学生がいるクラスがあった。私のクラスにもオンラインの学生がおり、ハイブリッドでの授業だったため何人かでの話し合いの時など大変な時もあった。授業は基本的にパソコンのノートブックというアプリで教材が配られ問題を解き答え合わせをしたり、クラスメイトと話し合ったりした。
授業形態は先生が最初に今日学ぶ内容を説明して、それに沿って授業が進められる。授業中に先生が提示した課題に対しては基本的にペアやグループワークがほとんどで一人ですることは少なかった。曜日や週ごとに学ぶ内容(ライティング、スピーキング、リスニング、文法)が決められてそれに沿って進められていた。
授業では Office のアプリの OneNote のみを使って学習した。日本からオンラインで受講している学生もいたので教室内でオンラインミーティングに参加し、ハイブリット形式で受講した。
完全に対面授業で授業内容は 4 技能を中心に勉強した。私のクラスはクラスメイトとのディスカッションやディベートといった会話が比較的多かった。
ゲームしたり教科書に沿って授業してた発音の練習など
まず 10 人から 15 人の少数で、コミュニケーションやディスカッションメインの授業が多かったし、先生によってはその日のクラスの様子などをみて授業の内容を変更したりゲームをしたりする。ほとんど One note を使うので、紙などは使わなかった。授業中は日本語で会話をするのが禁止だったので、日本人同士でも英語でコミュニケーションをとっていた。
1 週間ごとに違うトピックをこなしていく形式
月曜日から木曜日は、午前の授業は student book でグループワークや文法など履修していく。午後は reading/Listening/writing を中心に授業を進めていく。毎週金曜日に文法とライティングの小テストが行われる。5 週目おきに中間テストとクラスによるが、プレゼンテーションがある。
対面式で One note というものを使って、パソコンで授業を受けて、宿題もパソコン上で提出しました。
基本的にディスカッションメインの授業が多くて、にぎやかなクラスで楽しかったです。月、水、金と他の曜日で、先生が交代で教えてくれていたので、飽きることなく毎日楽しい授業を受けれました。
日本の英語の授業とあまり変わりはないように感じたが、ペーパーレスで全ての授業がパソコンやタブレットを使って行う形式だった。授業中に積極的に発言する学生がかなり多く、わからないところがあっても気軽に発言しやすい雰囲気だった。

## クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

1 ターム目は、日本人が 16 人中 11 人、2 ターム目は留学生が 3 人しか居ませんでした。
ひとクラス 15 人ほどで私のクラスはほとんどが日本人でした。他には、韓国、ブラジル、チェコ、チリ出身の方がいました。
クラスの人数は 15 人程度、日本人の学生が 7 割で外国人留学生は少なかった。
クラス人数は大体どのクラスも 15 人程度だった。ただ日本の大学から新しく留学しにやってくる時はクラス人数が増えていた。比率は日本人が 8、留学生は 2 ぐらいに感じた。出身国はコロンビア、中国、韓国、ペルー、ブラジルなど様々だった。

クラス人数は 18 人で、韓国人が 1 人、コロンビア人が 1 人でそれ以外は全員日本人だった。
9:1の比率でほぼ全員日本人留学生だった。他の留学生はチリ人やタイ人、中国人など。
7人クラスベトナム 2人ブラジル 1人コロンビア 2人タイ 1人の私以外日本人いなかったです
クラス人数は15人ほどで、日本人8割、留学生2割くらいの割合だった。留学生の出身国はタイ、韓国、アルゼンチン、ブラジル、スペインでした。
2タームとも15人のクラスで1回目は5人が留学生10人が日本人でした。2回目は留学生がクラスに二人しかいないという状況でした。体感75%くらいが日本人だったような気がします。留学生の出身はベトナムやタイなどのアジアやインド、南アメリカのブラジルやコロンビア、チリから来ている人もいました。
1~5週目は14人のクラス構成で、12人が日本人で留学生が3人(ブラジル2人・コロンビア1人)。6~10週目にかけては15人のクラス構成で、日本人が8人で留学生が7人(ブラジル3人・コロンビア3人・中国1人)の構成だった。
クラスは8割が日本人で留学生はタイ、韓国、スペイン、コロンビア、ブラジルといろんな国から来ていました。
私のクラスはdep3で日本人半分、外国人半分というようなクラスでした。
クラスの人数は十六人程度で、外国人は各クラスに三人または四人。自分が体験したクラスの留学生は韓国、タイ、中国、チリ、スペイン、ブラジルからの学生だった。

### クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

聞く時は聞き、発言する場面は積極的に発言していた。
自分の意見を求められることが多く、しっかり考えないとついていくのが難しかったです。
日本人がほとんどだったため日本で受けている授業とあまり違いはなかったが、外国人と話し合うときは、価値観の違いや文化の違いを感じた。なるべく眠くならないように時々ゲームを挟むなど楽しい授業だった。とてもいい雰囲気です。
クラスの雰囲気は日本人が多かったため日本と似ている部分は多かったが、それでも授業に参加している学生はみな積極的に日本の授業と比べてたくさん意見している人が多かった。それと、日本と圧倒的に違うのはみんな楽しんでアクティビティが圧倒的に多かった(カブソングやKAHOOTや会話の時に話題を出してくれるカードなど)
日本人同士でもディスカッションの時間では積極的に英語で会話をする雰囲気だった。
ほとんどのクラスメイトが以前からいる人たちだったが、気さくでフレンドリーに話しかけてくれてすぐに打ち解けることができた。
明るくわいわいとにぎわっていた
クラスの雰囲気は全体的によかった。日本の授業と違う点は英語しか話してはいけないところと、会話メインの授業が多かったり、その日のクラスの雰囲気によって先生が授業内容を変えたりする点や日本の授業と異なる点だと思いました。
聞くときは聞くようにメリハリがしっかりしていた。みんな一生懸命に取り組んで質問を投げかけていて常にスピーキングをしていました。間違えても恥ずかしくない環境だったので英語力が伸びる環境だったと思います。
午前と午後の2時間ずつの授業時間(9~11時・11時30分~13時30分)。30分のブレイクタイム以外の休憩はなく、ほぼ通して授業を進めていく、
クラスはいつも賑やかで日本よりもたくさん発言していて、先生とも会話が良かった印象です。
日本の授業では、聞くだけの授業が多かったけれども、留学先では、さいころを使ったゲームで英語を勉強したり、すごいアクティブな授業でした。
とても賑やかで発言しやすかった。全員が留学生で英語を学びに来ているので文法のミスなどをあまり気にせずとにかくしゃべってみようという行動ができたので個人的にはかなり上達したかなと感じた。最初は全てがパソコンを用いた授業なので、操作方法がわからずに苦戦したこともあったが、慣れたら問題はなかった。

### 授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

広告について
犯罪についてのトピックや広告についてのトピックは個人的に面白かったです。

それぞれの国の文化を学ぶ授業が一番印象に残っている。ハグやキスの文化があったり食べ方が違ったり、人気なスポーツが違ったりなど、驚いたことが多かった。
SNSに関するトピックが興味深かった。普段利用している SNS は私たちの生活をどのように変えたか、または良い面と悪い面を書き出してディベートするという内容が印象に残っている。
オンラインデートや防犯カメラについて
発音
犯罪
環境問題についてディベートしたことです。
ジャンクフードと健康関連。宇宙編。
世界のスポーツ
最後のテスト終わりのプレゼンテーションが一番印象に残っています。決められたトピックで、それぞれのグループで発表する授業で1人1人の個性が出ていてプレゼンを聞くのが楽しかったです。
犯罪に関しての授業が個人的には興味があった。中でも自分のスピーキングの課題にもなった落書きは犯罪かどうか、そしてどのような刑罰を用意すべきかというトピックは話して色々な意見がでてよかった。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

予習を頑張りました。単語がわからないところは単語帳を作りメモをしていました。
常に自分の意見を持つようにしていました。
出された課題や予習は必ず行うようにし、出来るだけ日本人ではなく外国人と話すようにした。
先生が意見を求めたときには積極的に意見を出した。ペアワークの時はいろんな考え方ができるようアイデアをたくさん出した。先生が授業終わりに出す課題とは別に大学のページからアクセスできる自主学習用のページを使って自主勉強していた。
授業では会話をする機会が多かったので授業外でも英語で話すように心がけていた。
会話をするにあたって単語がわからないと話すことができないので、とにかくボキャブラリーを増やすことと、日記を書いていた。
楽しく授業を受けたいのと、楽しんだ方が授業内容を吸収できると思い、まずはクラスみんなと仲良くなりました。あとは必ずわからない単語が出てくるので事前に調べました。
朝早めに登校して、その日の予習や課題の確認を済ますなど予習と復習の基本サイクルを意識した。
自分からできるだけ発言すること
予習復習をしっかりと、授業の内容についていけるよう、英語力向上を目指すように努力しました。
授業中に出てきたわからない単語、すぐに意味が出てこない単語は紙にメモして帰ってから意味を調べるという復習をしていた。

## 2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの人でしたか。	通学手段	通学時間
0人		バス	45-60分
1人	中国人	電車	30-45分
0人		電車	45-60分
0人		バス	30-45分
1人	韓国	電車	15-30分
1人	日本出身で愛知県		

1人	日本	バス	15-30分
1人	中国	電車	15-30分

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ハンドソープ、シャンプー、リンス、ハンドタオル、フェイスタオル、バスタオル	
ベッド、机、クローゼット、ドライヤー	シャンプーやボディソープなど、歯ブラシ、服、
机、いす、クローゼット、タンス、シングルベッド	シャンプー、リンス、ボディソープ、かみそり、化粧水等、服、歯ブラシ、カバン、ティッシュペーパー
ベッド、学習机、ナイトテーブル	
ホストファミリーの詳細や大学への行き方、ホームステイ先先での過ごし方など前の留學生が書いてくれていた、タオル、マスクなど前の留學生が置いておいてくれた。	タオル、歯ブラシ、歯磨き粉、シャンプー&リンス、洗顔など
ベッド、クローゼット、机、いす、ベランダ、タオル、ドライヤー	服、化粧品
ベッド、机、椅子、棚、ハンガー、洗濯カゴ	洗濯洗剤
ハンガー、タンス、勉強机	シャンプー、リンス、ボディソープ、スリッパ、タオル、ウェットティッシュ、アルコール
勉強用の机。引き出し。ハンガー4つ。電球。	コンセント・変換アダプタ。パーカー。
ベッド、机、椅子、テレビ、クローゼット、ライト、ハンガー	充電器、化粧品
机とベッド	シャンプーなど自分で使いたいもの
ベッド、机、椅子、延長コード、ハンガー、扇風機	ドライヤー、変換アダプタ、充電器

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸感ったこと、驚いたこと。
お風呂の時間が短い、日本と就寝時間と起床時間が異なっている、交通機関が不便
生活リズムが早いことです。朝起きるのも、家を出るのも、晩御飯の時間もホストファミリーは早かったです。
シャワーの時間が短い、夕食の時間が早い、
向こうの人は寝るのがとにかく早いと感じた(午後八時ぐらいにはとてもしずかになり、電気も消える)。どの家庭もプールが併設されていること、
シャワーの時間、就寝時間の違い
晩御飯の時間が早い
寝る時間が早く、起きる時間もとても早い。夜はすぐに静かになるので早くお風呂に入らないといけなかった。
海外対応していない日本製品は使えないこと。就寝時間が9時10時でとても早い。夕食の時間が基本的に5時半6時から。
電車やバスといった公共交通機関が時間通りに来ないことや運休になったりすることが度々あった。
最初ご飯が自分に合わなくて食欲が全くなかったという経験をした。会話するのも集中しないと最初は聞き取れなかったし、自分が人見知りなのもあってコミュニケーションを取るのを躊躇ったこともあった。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。
積極的にわからないことはわからないと聞き、コミュニケーションを取ること。
日本食は必ず恋しくなると思うので、インスタントの味噌汁やお出汁、お気に入りの煎餅などを持っていくのはいいと思います。

シャワーの時間やその他のわからない事があれば勝手に自分で判断するのではなく、ホストファミリーに聞いた方がよい。

向こうではやんわり断るということはせず、YES か NO で答えないと失礼に当たるので気を付けたほうが良いと思う。それと、わからないことはとにかくたくさん聞くこと。

ホストファミリーに遠慮なくリクエストを言う

いっぱい今日あったことを話す

ホストファミリーと積極的にコミュニケーションをとることと、わからないことがあれば聞くことが大切。

話題がなくてもいっしょにテレビを見るとその内容について話せるので、家族とテレビを見ることを進めます。テレビから流れてくる英語と、ホストファミリーが同時に英語を話してくる環境は最初は大変だけれども、徐々に慣れます。

ホストファミリーとたくさん喋ること

ホストファミリーとは積極的にコミュニケーションを取ることを。日常会話でよく使う英語などは頭に入れて実際に使ってみることを、わからないことがあったら聞くこと

パソコンは持参しましたか。	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本からポケット Wi-Fi を持参	LAN ケーブルで可能	はい
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本の携帯をそのまま持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	LAN ケーブルで可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブル/ワイヤレス共に可能	いいえ
はい	日本からポケット Wi-Fi を持参	LAN ケーブルで可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	不明	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	いいえ

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア /サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
大学のイベントには全てと言っていいほど参加しました。なぜなら、留学生と交流したかったからです。そうすると、知り合いが増えていき、英語を話す機会を自分から得ることができました。	ショッピングモールやビーチに良く行きました。
大学内のバスケットコートでバスケット	大学の敷地内にはたくさんの場所に机があり、コンセントも常備されていたので頻繁に使っていました。
大学の近くの動物園に行った。ハロウィンパーティーやクリスマスパーティー、映画鑑賞など。	サーファーズパラダイス、サウスポート
大学のイベントはボードゲームやお菓子を食べながらいろんな人と交流するイベントによく参加した。ハロウィンのときは大学の仮装パーティーに	学校近辺にはスーパーがあるので日用品をそろえやすかった。

参加して楽しんだ。大学側が提供してくれる滝や山に行って自然を楽しむというプログラムにも参加した。	
大学主催のアクティビティで動物園や国立公園などに行った	旅行先: シドニー 費用: 約50000円(航空券代、ホテル代など) 手配方法: ネットで検索の上自分たちで購入
大学のハロウィンパーティに参加しました。いろんな人が仮装して楽しかったです	サーファーズパラダイスという観光地やショッピングモール
	Coles、大学内のカフェテリア。
	図書館によく行って勉強をしました。

### 3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
単語を覚えた事と、TOEIC を頑張りました。
洋画をできるだけ見るようにして、耳を慣らすようにしていました。
日常でよく使う英語を勉強したり、留学先について調べた。
自分は聞く力が圧倒的に足りないので、リスニングやシャドーイングをして聞く力を鍛えた。それと自分の行動のどれが失礼に当たるかわからないので、現地と日本の文化の違いをたくさん調べた。
英語を聞く時間を増やしてリスニング力を高めた。
ポキャブラリーを増やすために単語を覚えていった。
英語 4 技能の勉強、留学先の下調べ。(特にマナー。)
英語の歌を聞く
単語をたくさん覚えること。
日常使う単語を調べた

留学前にしておけばよかったと思う準備
単語をより多く覚える
簡単なものでもいいから、単語をたくさん覚えていけばよかったです。中学英語はとても役に立ったので、もっと基礎を固めていけばよかったです。あと、タイピングの練習もしていけばよかったです。授業は全てパソコンを使っての授業だったので、もっと早くタイピングできたらなと思っていました。
自分の感情や思っていることを細かく説明するための語彙が圧倒的に足りなかったためポキャブラリーをもっと増やしておけばよかったと感じた。
単語、熟語などの基礎固め
単語や語彙の勉強
リスニングの強化をしておけばよかったと感じた。
もっと英語に耳を慣らしておくべきだった

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
薬、体温計、ドライヤー
ホストファミリーにお土産(お菓子)は持って行ってよかったです。話のきっかけにもなるし、一緒に食べる時間を作れました。また、娘さんがいたので、折り紙も持っていきましたが、とても喜ばれ、一日中一緒に折り紙をしているときもありました。
ティッシュペーパーやウェットティッシュが役に立った。日本のマグネットが喜ばれた。

現地でコロナにかかったので日本から持ってきた強力な解熱剤は役に立った。それと整腸剤。喜ばれたのは日本のお菓子。
ビーチサンダル、じゃがりこ
除菌シート(手洗い場が基本的にどこ行っても常設してないので)
抹茶のお菓子はホストファミリーに喜ばれた。
冷えピタ、風邪薬。サングラス
コンセント変換アダプター
上着
洗濯ネットとスリッパ
変換アダプタと延長コード

日本から持っていく必要のなかったもの	日本から持参すればよかったと思ったもの
電子辞書です。パソコンを使って授業をしていたので、パソコンの機能を使えば時間をかけずに単語の意味を調べることができたので、電子辞書は一回も使いませんでした。	日傘は持っていくべきでした。向こうに行ったら日傘を指している人はいないからと思い持っていきませんでした。オーストラリアは移民の国なのでアジア系の人はいくさんいて、日傘を指している人も多かったです。
電子辞書は使う機会がほとんどなかった。	大学の友達にあげる用のお菓子
ドライヤーは変圧器を通して使うことができなかったので、持っていく必要はなかった。もしドライヤーをつかうなら現地で買う必要がある。	現地ではペットを飼う家庭が多いので動物の毛が服に引っついてしまうことが多かった。携帯用のコロコロクリーナーを持っていけばよかったと感じた。というのも、現地で調達しようとすると少なくとも7~8ドルはかかるので少し高いたかい。
雨具、ジャケット	上着
マスク、日本食、タオル、シャンプー&リンス	耳かき、ウェットティッシュ(除菌シート)、爪切り
お土産用の箸と扇子	オーストラリアは日差しがとても強いので、ラッシュガードや日傘を持参すればよかったと思った。
電子辞書・シャンプー・目覚まし時計・鏡	ごはん
ドライヤー	化粧水などの美容品、日焼け止め
洗剤	

#### 4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくぐらい準備しましたか。
クレジットカード、現金	クレジットカード上限 30 万円
クレジットカードと現金5万円分持っていきました。海外はタッチ決済が主流でとても便利だったのでクレジットカードは必ず持っていくべきです。現金は友達やホストファミリーとご飯に行くときに割り勘する際に必要なくらいです。	クレジットカードは両親が家族カードを持たせてくれたので、上限は知らないです。現金は5万円分持っていきました。
現金を少しは持って行ったが、ほとんどクレジットカードで払った。	クレジットカード上限 30 万、現金 5 万
三井住友銀行で渡航前にクレジットカードとデビットカードを発行した。	日本円で現金 10 万円、クレカ上限 10 万円、デビットカードに 20 万円
現金とクレジットカードのみ	現金 5 万円とクレジット上限 25 万
クレジットカード、現金、デビットカード	クレジットカード 2 枚(上限 20 万) デビットカード 1 枚(口座に入っている)



	現金を引き出すために) 現金 30 万
念のためクレジットカード、プリペイドカード、現金すべて用意した。現地ではクレジットカードが主流なのでクレジットカードはマストだと思った。	クレジットカード現金上限40万円、現金2万円。
現金、カード二枚とキャッシュパスポート一枚	現金400ドル、上限20と30万のカード、20万円入れたキャッシュパスポート
現金 10 万円・マスターカード 15 万円分(スペア:10 万円・オリジナル:5 万円)	現金 1 万円。
クレジットカード、現金	クレジットカード上限 30 万、現金 300 ドル
現金、クレカ	現金 10 万、クレカ限度額 10 万一枚
現金である程度持って行ったのとはカードが 2 枚	現金が 5 万円、クレジットカードが上限 10 万、他はデビットカード

### 現地で支払った住居費と食費を教えてください。

外食すると高いので減多にしませんでしたが、外食するたび 1500—2000 円ほどはしていました。
約 5 万円
食費は外食が多かったので 8 万円ぐらいだと思う。
食費→1 回につき約 1000 円から 2000 円 1 か月:約 20000 円
食費は10万円ほどで、外食や飲み物などが日本に比べて高くかなりかかった。
食費に 100 ドル
交通 IC カードで約 3 万円。
外で外食すると一食 10-30ドルくらいです
通学費は月に約 1 万円強

### テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

通学費は 5 万円以上
留学生は学割が効かなかったの、通学費が 1 番かかりました。1 日往復 600 円ちよつとで週5で通っていたので2ヶ月半で3万円程度かかりました。土日は交通費が平日に比べて安かったです。
テキスト代はかからなかった。通学費は約 3 万 3 千円
テキストはパソコン上にすべて載っているので無償で使うことができた。通学費は平日常にバスを使っていたので 3~4 万円かかった。
交通費のみ、10 週間で 3 万円前後
テキスト代はなし、通学費は1週間5000円近くなので、2ヶ月半で約5万円~6万円。
テキストは無し。路面電車のトラムとバス合わせて週およそ 35-50 ドル。
テキスト代は 0 で通学費は片道 3.45ドルです
通学費が 1 か月でだいたい 1 万ほど

### その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

20 万円程
月2万いかないくらいでした。特に大きい買い物はしていません。
買い物は 3 万、旅行は 6 万



お土産代に2~3万円、ホストファミリーに日本食をふるまうための材料費に2万円、友達と遊ぶ(買い物、カフェ代、カラオケなど)に8~10万円。通信費用は日本から持ってきたWi-Fiを常に使っていたので4~5万円かかってしまった。現地で買うSIMだと8000円ぐらいで済むらしいのでそちらをお勧めする。

お土産の購入で2万円前後

約20万

買い物などの個人費用は5万円ほど(衣料品、お土産代)

服に4~500ドル。外食費に400ドルほど

服の買い物で4~5万円。外出で約3万円。

1ヶ月1000ドルくらいです

服に10万ほど、外食、テーマパーク10万ほど

20万~25万

## 5. 学習面について

### 語学力・コミュニケーション能力の自己分析

コミュニケーション能力は格別上がったと思います。また、英語を話す際に間違っていないか不安になり話す事を緊張していましたが怖くなくなり積極的に話せるようになった。

語学力向上につながったと思いますが、日常的なコミュニケーションはまだにとて難しいです。毎授業トピックがあったので、話題があつて自分の意見を述べるという形であれば、自分の意見や考えを述べるできるようになりました。

日常会話や店員との会話はある程度できるようになったが、まだ時間が必要だと思った。

留学前は話すことも聞くこともままならなかったが、留学を通して自分の思っていることや感じていることを大体はいえるようになった。ただ、まだ日本語から英語に変換して話そうとする癖が抜けないので練習が必要だと感じる。それと自分の言いたいことを具体的に説明する練習も必要だと感じた。

リスニング力と自分からの積極的な行動は向上した。

留学前はいざ英語で話すとなっても思うように文や単語が出てこなくてほぼ話せなかったが、今回の留学を通して以前よりも英語の文章を瞬時に脳内で組み立てることができるようになり話せるようになった。

現地の学校では年齢関係なく積極的にみんなコミュニケーションをとるので、日本にいる時と比べて私自身も人と関わる際に積極的に行動したりコミュニケーションをとることを心がけていたので、コミュニケーション能力は留学以前と比べると向上した。語学力はボキャブラリーの量が少ないと感じた。

発音が特によくなりました。確実にコミュニケーション能力は上達しました。

英語での語学力もそうだが、英語だらけの環境で留学前に比べて向上した。スピーキングもそうだが、特に手ごたえを感じたのはリスニングである。

留学前よりも留学が終わる頃の方が英語が喋れるようになってたと思います。コミュニケーション能力も上がったと思います

一日目は聞き取ることすら難しかったけど、帰るころには、結構話せるようになりました。

最初よりもすぐに英語での返答ができるようになって、話を聞いている時も意味がすぐにわかるようになった。日本にいる時よりも積極的に人に話しかけることができるようになった。

### 留学前の目標とその達成度

積極性を高める事を目標にしている、達成できました。

英語を不自由なく使えるようにしたいという目標はありましたが、それに関してはあまり達成することができていません。しかし、自分の意見を伝えることはできるようになったのでそこに関しては満足しています。

もっと流ちょうに話せるようになれると思っていたが、思っていたよりは上達できなかった。

留学前は自分の性格が消極的だということを知っているので現地での外国の友達を作れるか不安だったが、大学では母国語が英語でない人がたくさんいたのでお互いに英語を教えあうといういい関係を築くことができた。
日常会話レベルまでスピーキング力を向上させるのが目標だったが、自信をもって会話できるレベルにはならなかった。
留学前の目標: 会話力を上げる 達成度は60%。約3か月の留学では限界があったが、以前よりもスムーズに英語が出てくるようになり話せるようになったから。
留学前に目標は日常会話をこなせるようになって英語を話す環境に慣れることで達成度は70%。
日常会話を難くこなせるレベルになりたいと思っていましたが、1か月もかからずに達成しました。
恥ずかしがらずにいろんな人と喋ることができるようになって、英語の力もアップしたと思います
留学前の目標は友達を作って英語でたくさん喋ること。個人的にはかなり積極的に話しかけたり喋ったりできたので満足している

### 留学を通しての成長ポイント

コミュニケーション能力、チャレンジ精神
もちろんですが授業でも家に帰っても英語だけなのでリスニング力は上がったと思います。洋画も以前は字幕ありでも聞き取るのが難しかったですが今は聞き取りやすくなりました。
日本人は小さなことを気にしすぎだなと思った。人それぞれ価値観も文化も違うので色々な人がいることを知り、他人に対して偏見や固定観念などを持たなくなった。そして小さなことはあまり気にしなくなった。
自分の場合は積極性だと思う。日本だと察してもらうということが当然だといえるが現地ではそれが通用しないし、言語も違うため自分のしたいこと、思っていること、理由をすべて説明する必要がある。現地でのどのように生活するかもわからないのでとにかくいろんなことをいろんな人に聞けるようになった。
自分から積極的に行動できる力がついた。
初対面の人であってもすぐに打ち解けられるコミュニケーション力や何があってもくじけないメンタルの強さ
留学を通してすべて英語で自分で解決しなければいけないことがたくさんあったので、英語力の向上だけでなく問題解決力などもついた。
自己肯定感の上昇。間違いが恐れにくくなった。
慣れない環境においても、自分の個性をありのままに表現できる力が身についた。戸惑いはあっても、個人的にやっとな自分の英語スキルが使える喜びのほう勝っていた。
積極性が身につくコミュニケーションスキルも向上したと思います
自分で携帯のSIMカードを契約したりするのは初めてで、ましてや英語だったので緊張したが、やってみると案外できたので自信になった。普通に会話なども楽しめたのでこれから海外に行くことがあっても案外できるという自信になった

### 留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学中もモチベーションは高かったが、帰国後の方が高いです。
さらに英語を身につけていきたいと思っています。帰国後は英語を話す機会が極端に減ってしまうので何か英会話などに通いたいなと思っています。洋画を積極的に見るようになりました、また今まで吹き替えで見ていた洋画をオリジナルで見たいと思うようになりました。
留学前は頑張ろうという気持ちが強く強かった。留学中はホームシックになったり、授業の内容が難しかったりして心が折れそうになった時もあったが日本に帰ってきてからはもっと勉強しないとイケないなと思っている。
留学前はとにかく自分の英語力に不安しかなかったしモチベーションも低かったが、留学中にいろんな留学生の英語力を目の当たりにしたことや日常的に英語を使う機会を通して刺激を受け、今では留学前より圧倒的に語学を学ぶ機会が増えた。
留学前は英語力を上げられるかどうか不安だったが、現地に着くとネイティブの速さについていけず、挫折感を味わった。帰国前にはリスニング力の向上を実感できたので、帰国後も語学学習をこのまま続けていきたいと思った。

留学前よりもはるかにモチベーションは上がった。英語への苦手意識がさらになくなり、勉強することに楽しさを感じ始めた。
留学前はあまりモチベーションがなかったけど、留学に行ってもっと英語を話せるようになりたいと思って自ら自習や日記をつけるなどの語学学習に取り組んだ。
留学前は実感がなかったが、いざ行くとすべてが新鮮で楽しいので学習だと思いませんでした。留学が終わってからその習慣が残っているので楽しく感じます。
留学前から今に至るまで、自分の英語スキルが思う存分に使えるというモチベーションがあった。たとえ失敗しても、プラスに返るので新しい語学を覚えたい気持ちや話せるようになりたいや常に好奇心もって取り組むことができた。
留学中はクラスみんなが発言をたくさんするので、自分も頑張ろうとモチベが上がって、今ももっと英語が上手になりたいと思えるようになりました
留学前はそこまで英語に対して熱心というわけではなくた少し得意な科目というだけだったが、現地に行ってもっと流暢になりたいと思うようになった

### 留学中 100%力を振り絞った瞬間

スピーキングテスト
5週間ごとにテストがありました。ライティング、リスニング、リーディング、スピーキングのテストです。授業で学んだことを活かせるように頑張りました。
外国人留学生と会話をするとき
留学中の最初の頃、まだ自分のホームステイ先への帰り道もあやふやな中、帰りが遅い時間になってしまったときにケータイの充電器も切れて、近くに電話ボックスもなかったの、いろんな人にタクシーがどこにあるか聞いて、タクシーを拾って家に帰ったこと。
現地の友達を作ろうとして様々な方法を試した。
授業内でのディスカッションやディベート時
コロナにかかった時、メディカルセンターに問い合わせて回らない頭で精いっぱい症状などのすべてを伝えたことです。
10週目のプレゼンテーション。ファッションについてのプレゼンで、自分と同じグループになった人物の個性を出せたこと。自分のやろうとしていたプランが皆に伝わったこと。
外国人の人といっしょにごはんを食べて会話しているとき
一番最初にホストマザーに話しかける瞬間

### 留学先大学の良かった点

わからない事は優しく教えてくれた。
自然の中に囲まれていて、野生のコアラが暮らしているくらいでした。自然の中で勉強したり、お昼ご飯を食べたりと常にリフレッシュできている気分でした。アクティビティもたくさん計画されていてどれも魅力的でした。先生と学生の距離もとても近く勉強しやすい環境でした。
優しい先生が多く授業はとても楽しかった。
留学先大学はいろんな人と交流できるようにたくさんのイベントを設けてくれた。立地もよくて近くにスーパーもあるため日用品もそろえやすかった。大学内で起こったトラブルだけでなく、大学外の生活面でもしっかりサポートしてくれた。
観光地が近いので授業が終わってから楽しめる点は良かった。
教員の方も手厚く指導してくださり、また自分のレベルにあった授業を受けることができた。
放課後のイベントなどが多くて楽しかったこと、先生が優しくだったので話などを聞いてくれたこと。
良かった点は頑張れば頑張るほど英語力が伸びることです。
授業がレベル別で分かれていたので安心して受けることができました。
大学内に遊んだりできる場所やジム、近くに隣接している病院などもあって施設はとても充実していた。駅から近いのも良かった。